

夢 中高生の夢を育む 夢のたまご塾 夏セミナー2016開催

8月4日(木)～7日(日) 神岡町内

各界の第一線の研究者らを講師に招き、中高生が3泊4日で学ぶ「夢のたまご塾」飛騨アカデミー2016夏セミナーが行われました。今回は、県内外の中高校生の男女19人が参加しました。

開講にあたり、東北大学理事の伊藤貞嘉教授が専門である高血圧や腎臓の機能など研究について講演され、「自分の町や仕事、仲間に誇りを持つことが大切。世界中に多くの仲間を作り、グローバルに活躍しよう」と激励しました。

県外からの参加者は、「初めてのセミナーで緊張している。友達をたくさんつくりたい」と語っていました。



伊藤教授の講演を聞く参加者

高 今後の進路選択などに役立つ 高校生が宇宙線研究所大学院生と座談会

8月1日(月) 飛騨神岡高等学校

大学進学を希望する生徒たちに今後の進路選択に役立つよう、「東京大学院生から学ぼう! 夏季座談会」が飛騨神岡高校で開かれました。

この日は、東京大学宇宙線研究所で活躍する同大学大学院生2人を招き、飛騨神岡高校2・3年生14人が参加し、受験の方法や大学院での生活など、貴重な体験談を聞きました。

参加した生徒は「自分がやりたいことに進むことが大切だと分かりました。進路について考える良い機会になりました」と話していました。



大学院生と意見を交換する高校生

浴 色和衣イベントでファッションショー 衣姿で町を色とりどりに染める

8月5日(金) 円光寺

古川の町に魅せられた有志たちによるイベント「色和衣」が、古川町の円光寺で開かれました。

このイベントは、「飛騨古川を日本一着物が似合う町」を目指す地元の有志らが企画し、今年で5年目。

夕方から円光寺境内で縁日が行われ、地元のバンド演奏に続いて、浴衣のファッションショーなどが行われ、観客たちは色とりどりの浴衣姿を着たモデルたちの幻想的な光景に目を奪われていました。

また、この日は市内金融機関や市役所の職員らも浴衣姿で勤務し、着物が似合う町を一層盛り上げていました。



浴衣ファッションショーのモデルの皆さん

企 飛騨市企業間交流が開催 業のさらなる活性化へ

8月3日(水) 古川町公民館(総合会館)

市内の事業所に勤める中堅職員を対象とした企業間交流会が古川町公民館で開かれ、市内29事業の53人が参加しました。

企業間交流会は、他の事業所との情報交換や人脈の拡大を通して、企業の活性化を図ることを目的として市が企画し、今年で4年目。

この日は、都竹淳也市長を講師に招き「人を育てる組織づくり」をテーマに、上司の役割などを話したほか、フラフープを使った「ヘリウムリング」でチームワークについて考えるゲームを行うなど、企業間の交流を深めました。



ヘリウムリングを行う参加者



人 吉城高校でサイエンス教室 の目のしくみ学ぶ

8月9日(火) 吉城高等学校

吉城高校の生徒が先生役になり、理科の実験を通して同校の魅力を伝える「サイエンス教室」が、同校の理科実験室で行われました。

この日は、市内の小学生27人が参加。「目ってなんだろう」というテーマに、光の三原色(赤、青、黄)のLEDを使った実験や、眼球の模型を作成するなど、目の動きや構造について学びました。

参加した児童は「実験が楽しかった」「目のしくみが知れて良かった」と話していました。また、先生役の生徒は「人に物を教える難しさを実感した。良い子ばかりで助かりました」と話していました。



児童に説明する高校生

飛 自然を楽しみ、飛騨を味わう 騨清流みやがわ鮎釣り大会が初開催

8月6日(土) 宮川町

鮎釣りの腕前を競う「飛騨清流みやがわ鮎釣り大会」が宮川町の宮川河川で初めて開かれ、県内外の10組20人が参加しました。

大会は、2人1組のチーム制で行われ、チームで時間内に友釣りで釣り上げた匹数で順位を争いました。

結果は、高山市の竹原由紀子さんと向田和博さんのチーム「へっぽこクラブ」が計30匹の鮎を釣り上げ優勝しました。

大会後には、宮川の鮎に惚れ込み移住した鮎釣り名人の室田正さんとの交流会が行われ、参加者たちは、鮎の塩焼きや飛騨牛など、飛騨の味覚を楽しみました。



鮎を釣り上げる参加者

古 キャリア教育で郷土愛を育む 川中学校が企業訪問

8月17日(水) 古川町内

古川中学校の生徒が製造系企業の技術力やその「ものづくりへのこだわり」などを学ぶため、市内の製造企業を訪れました。

この取り組みは、学校が進める特色ある教育「リサーチ The 愛郷心 2016」の一環で、企業訪問を通して、地元企業の技術力やものづくりへのこだわりに触れ、郷土への誇りと愛着も持ってもらうと企画されました。

この日は、希望者7人が参加し、木工や薬品メーカーなど4社を訪問しました。このうち柏木工古川工場では、ドアなどの受注生産を主に受け、工場長から会社の説明を受けた後、工場内を見学しました。



担当者から説明を受ける生徒

ふ 飛騨市の魅力を市内外へ発信 るさとこども大使に児童30人を任命

8月8日(月) 市内

市内の子どもたちにふるさとの伝統文化や自然等をPRしてもらおうと市内の名所を巡るバスツアー「ふるさと講座」が行われました。

この日は、市内の小学4~6年生30人が参加。河合町で山中和紙の紙すき体験、宮川町の種蔵地区や神岡町の宙ドームの見学、古川町の匠文化館で飛騨の匠を学び、ツアー終了後に市役所でこども大使の任命式が行われました。

任命式では、都竹市長が児童に山中和紙で作られた任命証と児童の名前が書かれた名刺を手渡し、「飛騨市の良いところに気づいてたくさんの人にPRしてほしい」と激励しました。



都竹市長から任命証を受け取る児童